

2019年度東海大学付属浦安高等学校 学校評価

高校 年度	学校運営							学習指導					クラス指導					生活指導					進路指導		特別活動・課外活動					
	1. 全体的にみて、学校に対して満足している。	2. 教育方針や目標を理解している。	3. 付属ならではのメリットがある。	4. 国際交流に関するプログラムが充実している。	5. 施設・設備等の教育環境が充実している。	6. 危機管理や安全対策が図られている。	7. 学校に対して誇りや愛着がある。	8. 意欲的に学習している。	9. 先生は授業や教材を工夫している。	10. 学力や考える力がついている。	11. 家庭学習や課題（宿題）がきちんとできている。	12. 提出物をきちんと仕上げ、期日を守っている。	13. クラスや学校の一員としての自覚がある。	14. 友だちとの人間関係は良好である。	15. 担任や教科担当の先生との人間関係は良好である。	16. 学校や先生、友だちに悩みや問題を相談することができる。	17. 学校生活が楽しい。	18. 教室の清掃や整理整頓に努めている。	19. 学校行事に積極的に取り組んでいる。	20. 礼儀や挨拶がきちんとできている。	21. 頭髪・服装等のルールをきちんと守っている。	22. 登下校時に公共の場でのマナーを守っている。	23. 施設・設備・備品等を大切に使用している。	24. 学校のきまりをきちんと守っている。	25. 進路指導や面談は適切に行われている。	26. 行事や配布物から進路に関する情報を十分に得ている。	27. 委員会やクラス係の仕事にきちんと取り組んでいる。	28. 部活動に主体的に参加している。	29. 部活動における先生・コーチの指導は適切である。	30. ボランティア活動に取り組む機会がある。または参加した。
2017	2.6	2.6	3.2	2.4	2.6	2.5	2.4	2.6	2.6	2.6	2.6	3.0	3.0	3.3	3.0	3.0	3.1	3.0	3.1	3.2	3.2	3.4	3.4	3.2	3.0	2.9	3.2	3.1	2.6	2.3
2018	2.6	2.6	3.3	2.5	2.7	2.7	2.5	2.6	2.6	2.6	2.6	3.0	3.0	3.3	3.1	3.0	3.1	3.0	3.1	3.2	3.2	3.4	3.3	3.2	3.0	3.0	3.2	3.1	2.8	2.4
2019	2.6	2.6	3.2	2.5	2.7	2.6	2.4	2.6	2.6	2.6	2.7	3.1	3.0	3.3	3.0	3.0	3.1	3.0	3.1	3.2	3.3	3.4	3.4	3.2	3.0	2.9	3.2	3.1	2.7	2.2
大学の付属校としてのメリットを鑑み、高大連携をさらに進め、学校改革の推進を図った点についての評価が得られた。教職員の取り組み、施設設備、国際交流、危機管理面については、一定の評価を得られている。							概ね平均的な評価となっている。ICTの導入や新学習指導要領に対する対応準備を鑑み、今後もより一層の指導力向上を図る必要がある。また夏季・春季セミナー等を通じた、生徒の学力向上プログラムについても充実させていきたい。							全般的に評価点が高く、生徒が抱えている悩みや問題に対応する体制が整えられていると思われる。学年団を通して本校の一員としての自覚の醸成を図る取り組みも続いている。今後もさらに礼儀・挨拶・マナーに対する生徒たちの姿勢や社会性の自覚を促し、継続的に指導したい。					生徒の実状や社会情勢を鑑み、様々なルールをより良いものへと改善させながら、「わかりやすい生活指導」の実践を図る。また公共交通のマナーについては、一層の改善を継続的に取り組んでいく。					安定した評価点の傾向が続いており、満足度が高いと考えられる。今後も生徒のキャリアプランを立案するための知識とスキルの育成の充実を図りたい。		特別活動と課外活動への取り組みは概ね良好である。また、さまざまな研修により教員・コーチの指導力も向上がみられる。今後はボランティア活動に対する取り組みを強化していきたい。				

2019年度東海大学付属浦安高等学校中部 学校評価

中部	学校運営							学習指導					クラス指導					生活指導					進路指導		特別活動・課外活動					
年度	1. 全体的にみて、学校に対して満足している。	2. 教育方針や目標を理解している。	3. 付属ならではのメリットがある。	4. 国際交流に関するプログラムが充実している。	5. 施設・設備等の教育環境が充実している。	6. 危機管理や安全対策が図られている。	7. 学校に対して誇りや愛着がある。	8. 意欲的に学習している。	9. 先生は授業や教材を工夫している。	10. 学力や考える力がついている。	11. 家庭学習や課題（宿題）がきちんとできている。	12. 提出物をきちんと仕上げ、期日を守っている。	13. クラスや学校の一員としての自覚がある。	14. 友だちとの人間関係は良好である。	15. 担任や教科担当の先生との人間関係は良好である。	16. 学校や先生、友だちに悩みや問題を相談することができる。	17. 学校生活が楽しい。	18. 教室の清掃や整理整頓に努めている。	19. 学校行事に積極的に取り組んでいる。	20. 礼儀や挨拶がきちんとできている。	21. 頭髮・服装等のルールをきちんと守っている。	22. 登下校時に公共の場でのマナーを守っている。	23. 施設・設備・備品等を大切に使用している。	24. 学校のきまりをきちんと守っている。	25. 進路指導や面談は適切に行われている。	26. 行事や配布物から進路に関する情報を十分に得ている。	27. 委員会やクラス係の仕事にきちんと取り組んでいる。	28. 部活動に意欲的に参加している。	29. 部活動における先生・コーチの指導は適切である。	30. ボランティア活動に取り組む機会がある。または参加した。
2017	2.7	2.7	3.3	2.7	2.8	2.7	2.6	2.7	2.8	2.7	2.7	3.0	3.1	3.4	3.1	3.0	3.1	3.0	3.3	3.3	3.3	3.4	3.3	3.0	3.0	3.2	3.0	2.8	2.3	
2018	3.1	3.0	3.5	3.1	3.1	3.0	2.9	2.9	3.1	3.0	2.7	3.0	3.4	3.5	3.2	3.0	3.4	3.1	3.3	3.5	3.5	3.5	3.5	3.3	3.1	3.1	3.4	3.2	2.9	2.4
2019	3.1	3.1	3.5	3.2	3.2	3.1	2.9	2.9	3.2	3.1	2.9	3.0	3.4	3.5	3.2	3.0	3.3	3.2	3.3	3.5	3.5	3.5	3.5	3.4	3.2	3.2	3.4	3.3	3.1	2.4
<p>前年度に比べ、学校運営に関する評価が大きく向上した。学び方スタンダードをはじめとした諸改革の推進を図った点についての評価が得られたと考えられる。教職員の取り組み、施設設備、国際交流、危機管理面についてね、一定の評価を得られている。今後はさらに生徒の学校生活における充実感向上を実感できる取り組みを工夫し、学校方針や教育目標に基づいた、教職員間の共通理解や連携を高めていきたい。</p>							<p>概ね良い評価となっている。プロジェクター設備の充実に伴うiPad等を使った授業改革の動きが高まっており、今後も生徒の学力向上に結びつく指導の工夫を継続していきたい。</p>					<p>全般的に評価点が高く、生徒が抱えている悩みや問題に対応する体制が整えられていると思われる。学年団を通して本校の一員としての自覚の醸成を図る取り組みも継続している。今後はさらに礼儀・挨拶・マナーに対する生徒たちの姿勢や社会性の自覚を促し、継続的に指導したい。</p>					<p>生徒の実状や社会情勢を鑑み、様々なルールをより良いものへと改善させながら、「わかりやすい生活指導」の実践を図っている。今後は特に公共交通のマナー面の指導を強化し、一層の改善に取り組んでいきたい。</p>					<p>概ね良好な評価傾向が続いている。今後も生徒の課外活動への評価は概ね良好である。また、さまざまな研修により教員・コーチの指導力も向上がみられる。今後はボランティア活動に対する取り組みを強化していきたい。</p>								